

# ニンビンへの旅

ベトナム初の世界複合遺産  
自然と歴史が織りなす悠久の地

2014年6月、北部ニンビン（Ninh Binh）省「チャンアン（Trang An）名勝・遺跡群」がベトナム初のユネスコ世界複合遺産に登録された。石灰岩が林立する風光明媚な景勝地、約3万年前の人類の生活跡、ベトナム国家の礎を築いた古都の遺跡。自然と史跡にあふれる町、ニンビンを訪れた。

撮影／大池直人 取材協力・監修／クエン・カック・スー（Nguyen Khac Su／ベトナム考古学院・シニア研究員および科学評議会副議長）、大西和彦（国立ベトナム宗教研究院客員研究員、南潮産業・翻訳会社日本語センター講師）

## 水と石灰岩が造り出す 世界で最も若いカルスト地形

ニンビンは見どころが非常に多い。「陸のハロン湾」と称される「タムコック／Tam Coc」や「チャンアン／Trang An」、「トゥンナン／Thung Nang」などの渓谷クルーズをはじめ、古都ホアルー（Hoa Lu）遺跡、洞窟寺として知られる「ビックドン／Bich Dong」寺など、枚挙にいとまがない。

今回、世界複合遺産として認められた理由の1つに、「世界で最も若いカルスト地形」があると聞く。カルスト地形とは、石灰岩などの岩石で構成された大地が、水によって侵食されてきた独特の地形のことだが、ここは約2億4000年前と、考古学的な見地からは新しい地形がとて珍しいのだという。さらに、点在する渓谷の中から約3万年前の人類の生活跡が残る洞窟が発見されている。自然が生む独特の地形と、そこで暮らしてきた人々の痕跡を訪ねに、世界遺産のメインとなるチャンアン渓谷へ足を運んだ。

※世界遺産エリアは、p.21の地図を参照

水が大地をつなぎ、  
やがて洞窟は川となる



左：チャンアンには洞窟が全部で48ヶ所あり、クルーズでは9ヶ所の洞窟を通る  
中：水蓮が開くのは朝10時まで  
右：川底をびっしりと埋め尽くす水草。「チャンアン名勝・遺跡群」エリアの中でも、手つかずの自然が残るチャンアン

## 緑深い山並みと静寂に包まれ 圧倒的な自然美を知る

やわらかな朝の光が降り注ぐ中、舟はゆっくりと動き出した。ゆらゆらと揺れる水草の合間を小さな魚が泳いでゆく。昨晩は雨が降らなかったせいか、川の水が澄んでいる。櫂が水をかく音と鳥のさえずりが辺りに響く。舟を進ませると、山々に囲まれた池のような場所に出た。うっかりすると見落としそうだが、よく見ると山の下側に小さな洞窟の入り口がある。

ここチャンアンは、四方を独立した石灰岩の山々に囲まれた池がいくつもあり、池と池をつなぐ川の役目を果たしているのが山の下側にぽっかりと空いた洞窟だ。海面上昇や低下をくり返し、岩山の下部が海水や雨水などで溶け、長い年月をかけて洞窟ができたのだという。舟は約320mの長い洞窟の中へ。白熱灯だけの内部は薄暗くじめじめしている。太く垂れ下がる鍾乳洞をよけながら、ようやく洞窟を抜けると、せり立つ巨大な岩山がまた現われた。大いなる自然の力とその美しさにただただ圧倒される。

## 古の人々が生きる知恵宿る ここは野外の地質博物館

約3万年前～4000年前に人類が暮らした跡が残るチャンアン一帯。研究者の間では「野外の地質博物館」と呼ばれている。

2010年に発見されたハンモイ (Hang Moi) 遺跡を、第一発見者であるタイン (Thanh) さんに案内してもらった。「地面がぬかるんでいるから気をつけなさい」。タインさんはそう告げると慣れた足取りで森の中へ。木の枝やツルを払いよけながら必死でついていく。湿気を含んだ空気が重く体にまとわりつき、気がつくと全身から汗が噴き出していた。15分は歩いたのだろうか。崖を登ると小さな洞穴が現われた。ハンモイだ。無数の貝が積まれた貝塚が見える。現在も発掘調査の途中なのだという。

チャンアンのある遺跡からは果物や木の実など森で生活した跡が、またある遺跡からは魚の骨や貝など海の物が発見されている。こうした調査によってニンビンの一部が昔、海であったこと、海面上昇・低下の真相が明らかになったそうだ。人類が環境の変化によって生活の場を変え、どのように生きてきたか遺跡を通して知る—そこには、地球温暖化による海面上昇などさまざまな環境変化に直面する、現代を生きる私たちへのヒントが散りばめられている。



「昔、俺は遺跡と知らずここハンモイで寝泊りをしていたんだよ」と、タインさん。チャン祠や付近のチャンアンの森を管理している



左：チャンアンの洞窟。洞窟内の灯りは最小限に抑えられている  
中：かつてこの水を使って酒造りが行われていたことから「醸造洞／Hang Nau Ruoi」と名付けられた洞窟  
右：岩山の麓にひっそりと建つ石造りの「チャン祠／Den Tran」に途中立ち寄る。12世紀の武将チャン・フン・ダオ (Tran Hung Dao) を祀っており参拝客は後を絶たない



左：約3万年前～7000年前の生活跡が残るハンモイ遺跡。ハンモイのほか、すでに25ヶ所もの遺跡が発見された  
右上：今にも崩れ落ちそうな崖を登ると現われるハンモイ遺跡  
右下：貝はバナナの葉で蒸し焼きにして食べていたことも分かっている



人も昔も、変わらぬ風景  
人と自然が共生する

ニンピンのクルーズで唯一、昔ながらの竹舟を使用しているヴァンロン



上：「ヴォック/Vook」。まるで白いパンツを履いているよう(ヴァンロン)  
右：水路に沿って背の高い声が観光客は少なく、ひっそりとしているヴァンロン



上：石段の頂からタムコックの水路を見渡せる「ハンムア/ Hang Mua」でヤギに出会った  
右：観光客を乗せた舟が行き交うすぐそばに人々の生活がある(タムコック、ヴァンラム/Van Lam 村)



タムコックの物売りのしつこさは問題となっていたが、現在は改善されている



左：トゥンナン渓谷もタムコック同様、観光地であるとともに人々の生活の場  
中：夕暮れが近づくと、タムコックの舟乗り場付近は子どもたちの遊び場になる  
右：バナナの葉を満載した舟。料理など、さまざまなものに活用されるそうだ(トゥンナン)

## 山では動物がのびのび暮らし、麓では人が穏やかに暮らす

崖の上ではヤギが草を食み、山々を鳥たちが自由に飛行する。渓谷にはさまざまな動物が暮らす。「ヴァンロン/Van Long」に、絶滅危惧種の猿「ヴォック」がいると聞いて車を走らせた。舟に乗るやいなや日射しがジリジリと肌を焼く。暑い。舟が岩山の影に入ったその時、船頭の女性が「ヴォックよ」と指を差した。岩山の頂を、尻部分だけ白い黒猿が群れをなして移動している。こちらに気づいたのか、しばらく顔を向けた後、木々をつたってどこかへ行ってしまった。世界中でベトナム北部にのみ生息する稀な猿を見られたことに満足し、タムコックへと向かった。

タムコックは水路沿いに村があり、船頭もこのヴァンラム村の人が担っている。舟は人々が行きかう小さな石造りの橋の下をゆっくりと進み、洗濯物が干された家々を通り過ぎた。向こうから別の舟が近づき、船頭同士がにこやかに挨拶を交わす。「ここで舟を漕いでいる人はみんな知り合いなの。すごく親しい人ばかりよ」と、船頭の女性が教えてくれた。クルーズが終わる頃には夕暮れが迫っていた。舟乗り場に戻ると地元の人々が集まっている。将棋に興じるおじさん達、水辺で涼をとる家族、舟に乗りはしゃぐ子ども達。きっとこの目の前にある風景は今も昔も変わらず、ここで暮らす人々の日常なのだろう。

# かつての記憶をとどめる古都



苔むした門、色褪せた木彫りの装飾。至るところに歴史の残り香が感じられる古都ホアルー



左 : ビックドン寺はタムコックの船着き場から約2km。拝観時間は7:00～17:00  
 中上 : ビックドン寺は3層に分かれ、2つ目の「中寺」は洞窟の中に  
 中下 : 「ディンティエンホアン祠 / Den Vua Dinh Tieng Hoang」の木彫り彫刻  
 右 : 「レーダイハイン祠」内部の柱にも「長安」の文字が

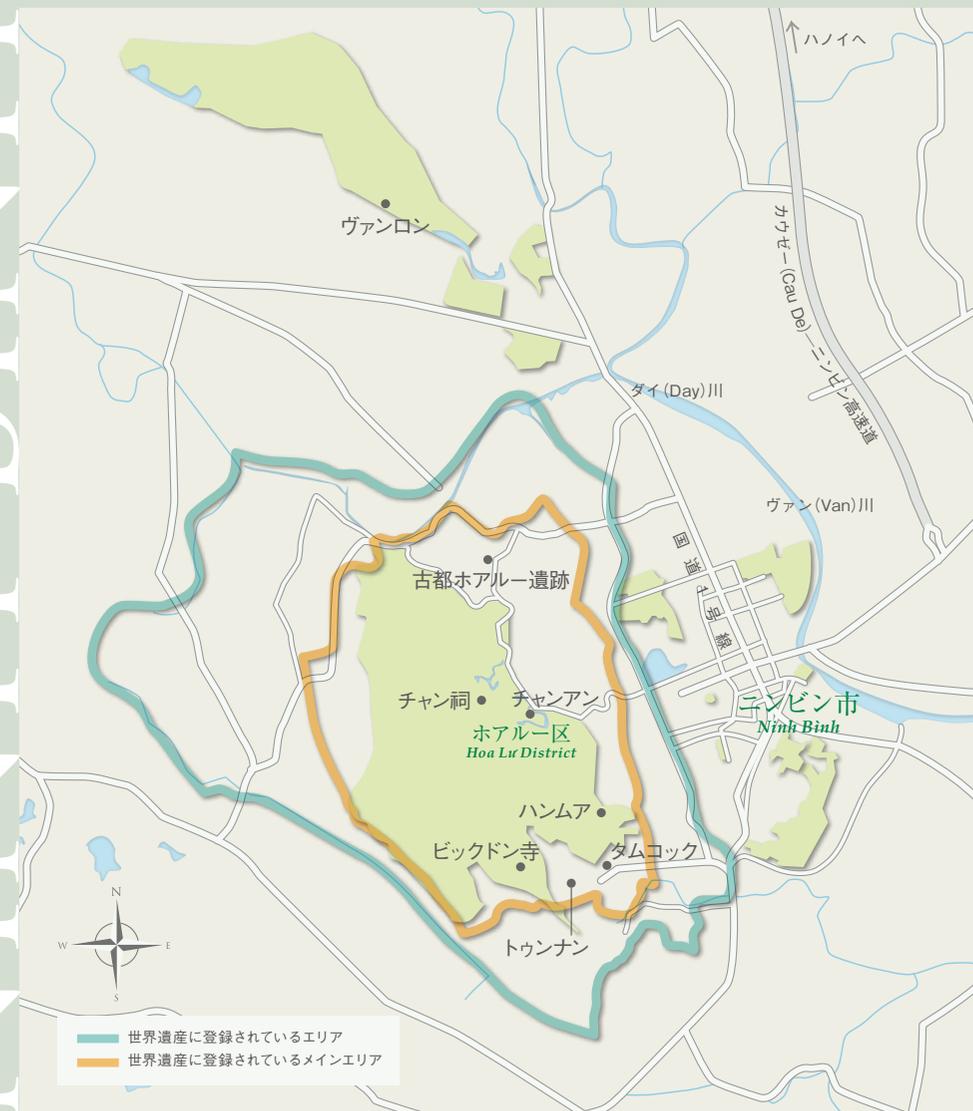
## ベトナムの原点は ホアルーにあり

ニンビンの史跡で訪れたいのがビックドン寺と古都ホアルー遺跡だ。ビックドン寺は2人の仏僧が山水画のような美しい景観に惹かれ15世紀に建てた洞窟寺で、ベトナムの洞窟寺の中でも3本の指に入る美しさと言われる。

一方、ホアルーは天下統一をめぐる乱世の時代に、ディン・ボ・リン (Dinh Bo Linh / 丁部領※後のディン・ティ

エン・ホアン / Dinh Tien Hoang / 丁先皇) がベトナム歴史上初めて国家統一を成し遂げ、968年にディン (Dinh / 丁) 朝が都を築いた場所だ。1010年にタンロン (Thang Long、現ハノイ) に遷都するまで次のティエンレー (Tien Le / 前黎) 朝と共に法整備や強力な軍事でベトナム国家の礎を築いた。ホアルーでは「長安」の文字をよく目にする。これはホアルーが中国・唐の都、長安にならった都を目指したためだ。しかし長安が南北を軸に都が築かれたのに対し、ホアルーは東西を軸に都が置かれた。

# NINH BINH



## ニンビンへのアクセス

ニンビン省の省都、ニンビンへはハノイから南へ約106.2km (高速道94.4km)。タクシー利用は片道約100万VND (約5210円) ~ +、税別。バス利用ならハノイのザップバット (Giap Bat) バスターミナルから7万VND (約360円)、6~19時の間に15分毎。タクシーもバスも所要約1時間。鉄道はハノイA駅から6~16時半の間に1日4便、所要約2時間。ハノイからのツアーも多数あり、スケッチトラベル (広告p.13) では、日帰りツアーを用意。詳細は問い合わせを。

## クルーズインフォメーション

本誌で紹介したクルーズは下記の4ヶ所。クルーズ終了後、舟の漕ぎ手に1人2万VND (約100円) 程度のチップを渡した方が望ましい。

タムコック / Tam Coc	トゥンナン / Thung Nang	チャンアン / Trang An	ヴァンロン / Van Long
営業時間 6:00~17:00	営業時間 6:00~17:00	営業時間 6:00~17:00	営業時間 6:00~17:00
入場料 1人 12万VND (約630円)	入場料 1人 3万VND (約160円)	入場料 1人 15万VND (約780円) ※舟代込み	入場料 1人 1万5000VND (約80円)
舟代 一隻 15万VND (約780円)	舟代 1隻 6万VND (約310円)	所要時間 約3時間	舟代 1人 3万VND (約160円)
所要時間 約2時間半	所要時間 約1時間半	アクセス ニンビン市中心部から北西へ約7km、車で約10分	所要時間 約1時間半
アクセス ニンビン市中心部から南西へ約7km、車で約10分	アクセス ニンビン市中心部から南西へ約10km、車で約15分		アクセス ニンビン市中心部から北西へ約20km、車で約30分